

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年7月17日 (2014.7.17)

【公表番号】特表2013-529600(P2013-529600A)

【公表日】平成25年7月22日 (2013.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-039

【出願番号】特願2013-514392(P2013-514392)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 L 29/00 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/745 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 31/12

A 6 1 L 29/00 B

A 6 1 L 27/00 F

A 6 1 L 31/00 B

C 0 7 K 14/745 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月30日 (2014.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有効量のトロンピンペプチド誘導体を含む、致死量の放射線に曝露した対象の死亡リスクを減少させるための医薬組成物であって、ここで前記トロンピンペプチド誘導体が A s p - A l a - R を含み、R がセリンエステラーゼ保存配列である、医薬組成物。

【請求項 2】

前記放射線量が、少なくとも 3 . 5 G y である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記対象が、更に、外傷、重症の皮膚損傷、及び / 又は熱傷を受けている、請求項 1 又は 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記外傷が、骨折、又は内臓の損傷である、請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記熱傷、重症の皮膚損傷、又は外傷が、対象を全身感染症に曝す、請求項 3 又は 4 に

記載の医薬組成物。

【請求項 6】

有効量のトロンビンペプチド誘導体を含む、放射線療法を受ける対象において、放射線照射に関連した損傷を減少させるための医薬組成物であって、ここで前記トロンビンペプチド誘導体が $\text{Asp} - \text{Ala} - \text{R}$ を含み、 R がセリンエステラーゼ保存配列であり、前記放射線照射に関連した損傷が脳損傷である、医薬組成物。

【請求項 7】

前記トロンビンペプチド誘導体が、ポリペプチド $\text{Arg} - \text{Gly} - \text{Asp} - \text{Ala}$ (配列番号 16) を含み、前記トロンビンペプチド誘導体が、12 ~ 23 アミノ酸残基長のポリペプチドである、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記トロンビンペプチド誘導体が、ポリペプチド $\text{Ala} - \text{Gly} - \text{Tyr} - \text{Lys} - \text{Pro} - \text{Asp} - \text{Glu} - \text{Gly} - \text{Lys} - \text{Arg} - \text{Gly} - \text{Asp} - \text{Ala} - \text{Cys} - \text{X}_1 - \text{Gly} - \text{Asp} - \text{Ser} - \text{Gly} - \text{Gly} - \text{Pro} - \text{X}_2 - \text{Val}$ (配列番号 2)、少なくとも 14 個のアミノ酸残基を有するその N 末端切断フラグメント、又は少なくとも 18 個のアミノ酸残基を有するその C 末端切断フラグメントを含み、ここで X_1 が Glu 又は Gln であり、 X_2 が Phe 、 Met 、 Leu 、 His 、又は Val である、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記トロンビンペプチド誘導体が、ポリペプチド $\text{Ala} - \text{Gly} - \text{Tyr} - \text{Lys} - \text{Pro} - \text{Asp} - \text{Glu} - \text{Gly} - \text{Lys} - \text{Arg} - \text{Gly} - \text{Asp} - \text{Ala} - \text{Cys} - \text{Glu} - \text{Gly} - \text{Asp} - \text{Ser} - \text{Gly} - \text{Gly} - \text{Pro} - \text{Phe} - \text{Val}$ (配列番号 6)、少なくとも 14 個のアミノ酸残基を有するその N 末端切断フラグメント、又は少なくとも 18 個のアミノ酸残基を有するその C 末端切断フラグメントを含む、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記トロンビンペプチド誘導体が、 $\text{H} - \text{Ala} - \text{Gly} - \text{Tyr} - \text{Lys} - \text{Pro} - \text{Asp} - \text{Glu} - \text{Gly} - \text{Lys} - \text{Arg} - \text{Gly} - \text{Asp} - \text{Ala} - \text{Cys} - \text{Glu} - \text{Gly} - \text{Asp} - \text{Ser} - \text{Gly} - \text{Gly} - \text{Pro} - \text{Phe} - \text{Val} - \text{NH}_2$ (配列番号 3) である、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記トロンビンペプチド誘導体がポリペプチド二量体であり、ここで二量体中の各ポリペプチドが 12 ~ 23 アミノ酸残基長であり、二量体中の各ポリペプチドは独立して、 $\text{Asp} - \text{Ala} - \text{Cys} - \text{X}_1 - \text{Gly} - \text{Asp} - \text{Ser} - \text{Gly} - \text{Gly} - \text{Pro} - \text{X}_2 - \text{Val}$ (配列番号 10) を含み、 X_1 が Glu 又は Gln であり、 X_2 が Phe 、 Met 、 Leu 、 His 、又は Val であり、前記ポリペプチドが任意で C 末端アミドを含み；前記ポリペプチドが任意でアシル化された N 末端を含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の医薬組成物。